

## ものづくり分野で国際的に活躍できるグローバル人材育成を目指した、新規材料の開発・ものづくりをテーマとしたgPBL(タイ)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2019年07月30日 ～2019年08月12日	タイ	チュラーロンコーン大学	・材料工学科 ・学部1年生、学部2年生、学部3年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生19名、教員3名 (チュラーロンコーン大学) 学生18名、教員3名	芹澤 愛(材料工学科)、 岡 徹雄(材料工学科)、 李 素潤(材料工学科)



図1 週末にはタイ文化を理解

2019年7月30日～8月12日にかけての14日間、タイの首都、バンコクの中心部に位置するChulalongkorn Universityにおいて、材料工学科グローバルPBLを実施した。参加対象は本学材料工学科学生としたが、実際には2年生および3年生計19名が参加した。本PBLでは、材料工学(主に金属材料工学分野)におけるワークショップ、自動車部材を製造している日系会社への工場見学およびワークショップ、Dr. Chedtha Puncreobutr、材料工学科の岡先生らによる材料科学および材料工学の各分野に関する講演、工学英語およびプレゼンテーションスキルの向上に特化した英語の授業、PBLとしてのグループディスカッションおよびプレゼンテーションを含む内容のプログラムを実施した。また、タイ人との相互理解を目的としてグローバルコミュニケーションアクティビティ、お互いの文化を学ぶためのアクティビティをプログラム前半に設け、両大学の学生らのアイスブレイキングとして実施した。

プログラムのほぼ全行程は、Department of Metallurgical Materials Engineering, Faculty of Engineering, Chulalongkorn Universityの学部3年生～修士課程の学生とともに実施した。PBLなどのグループワークは、5～6名程度の少人数で行い、グローバルコミュニケーション力の向上が効果的に図れるように配慮した。



図2 PBLと平行し英語の授業も実施

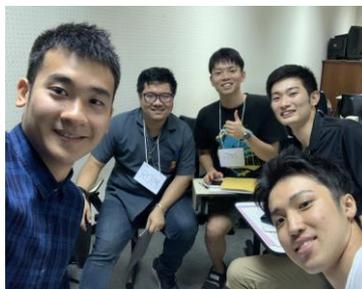


図3 名札はニックネームで！



図4 実験に挑戦



図5 学食でランチ



図6 集合写真  
画像などコンテンツの無断転載を禁じます。



図7 PBL実施風景